



上智大学アジア人材養成研究センター 設立30周年記念 国際シンポジウム —ザビエルの夢を求めてアンコール文明との対話— テーマ「私たち新任保存官がアンコール・ワットを修復しました」

日時:2026(令和8)年10月24日(土)13時~17時 開場:12時30分~

要事前申込み(対面・会場 先着100名) ※プログラムは裏面ご参照

場所:上智大学国際会議場(2号館17階)/千代田区紀尾井町7-1

言語:カンボジア語/日本語(逐次通訳)

後援:駐日カンボジア大使館、フランス国立極東学院 京都支部、文化遺産国際協力コンソーシアム

苦節33年、カンボジアの世界文化遺産アンコール・ワットの参詣口に当たる、西参道(全長200m、幅12m)は、カンボジア人遺跡保存官の手によって見事に修復されました。2023年11月の「アンコール・ワット西参道修復工事完成式典」ではカンボジア人だれもが西参道の修復・再開通をよろこんでくれました。

このたび、西参道修復工事を指揮したアプサラ国立機構総裁と保存官5名をお招きし、その経緯と成果を発表いただきます。カンボジア人による文化遺産の保存・修復と、長年に渡る本学の人材養成支援を振り返り、日・カ両国の文化遺産を通じた交流を展望いたします。

上智大学アジア人材養成研究センター所長 石澤良昭



アプサラ国立機構
総裁
H.E.Dr.Hang Peou
ハン ペウ 氏



アプサラ国立機構
Mr. Mao Sokny
マオ ソックニー氏



アプサラ国立機構
Mr. An Sopheap
アン ソピアブ氏



アプサラ国立機構
Mr.Chhun Sambor
チュン サンボー氏



アプサラ国立機構
Mr. Soy Channorith
ソイ チャノリット氏



アプサラ国立機構
Ms. Ourn Sinang
ウーン シナン氏

【お問い合わせ】
上智大学アジア人材
養成研究センター
千代田区紀尾井町7-1
sacrh@ml.sophia.ac.jp
TEL:03-3238-4136
FAX:03-3238-4138

【参加申込QR】



先着100名

上智大学キャンパス
会場案内図





上智大学アジア人材養成研究センター 設立30周年記念 国際シンポジウム —ザビエルの夢を求めてアンコール文明との対話— テーマ「私たち新任保存官がアンコール・ワットを修復しました」

司会：三輪悟(上智大学アジア人材養成研究センター研究員)

通訳：ラオ・キム・リアン(上智大学アジア人材養成研究センター研究員)

ニム・ソティーン(上智大学アジア人材養成研究センター研究員)

12:30～ 開場

開会挨拶

13:00-13:05 Dr. AUGUSTINE SALI S.J.(上智学院理事長)

13:05-13:10 H.E. Mr. CHUM SOUNRY(駐日カンボジア王国特命全権大使)

発表(Ⅰ)

13:10-13:35 H.E. Dr. HANG PEOU(カンボジア王国アンコール地域遺跡保護整備機構総裁)
「アンコール・ワット西参道修復工事の国際的意義」

<第1期工事>

13:35-14:00 MAO SOKNY(アプサラ国立機構保存官、建築学)
「研修体験から第1期工事の完成まで」

<第2期工事>

14:00-14:25 AN SOPHEAP(アプサラ国立機構保存官、考古学)
「考古学調査と修復方針から」

14:25-14:50 CHHUN SAMBOR(アプサラ国立機構保存官、考古学)
「ワットの施工管理報告から」

休憩 14:50-15:10

発表(Ⅱ)

15:10-15:35 SOY CHANNORITH(アプサラ国立機構保存官、建築学)
「ワットの再実測とその記録から」

15:35-16:00 OURN SINANG(アプサラ国立機構保存官、考古学)
「工事現場の安全管理」

16:00-16:10 三輪悟(上智大学アジア人材養成研究センター研究員)
「西参道修復とカンボジア人保存官の活動」

16:10-16:20 平山善吉(アンコール・ワット西参道修復技術交流研修委員会委員長・日本大学名誉教授)
「西参道修復工事における技術交流研修委員会」

ディスカッション

16:20-16:55 (総裁、保存官5名、平山善吉、三輪悟)
「アンコール・ワット西参道修復工事を通じて私たちが学んだこと」

閉会挨拶

16:55-17:00 石澤良昭(上智大学アジア人材養成研究センター所長)